学校法人　電波学園

東海工業専門学校熱田校

設置学科

科名	募集定員	修業年限	入学資格
建築科	40名 （男子・女子）	3年	令和7年3月に中学校を卒業する見込みの者 または中等教育学校の前期課程を修了する見込みの者
機械科	160名 （男子・女子）		

教育方針と特色

「自主・友愛・壮健を校訓とし、社会に役立つ知識・技術を身に付け、だれからも信頼され歓迎される人材の育成を図っています。

●「わかる」を実感
学び直しから始め、ゆっくりわかりやすくをモットーに授業を進めます。先生のサポートも相まってわかっていくことの楽しさが芽生えます。

●「カタチ」になる喜び
実践的な教育から、幅広い実習体験と資格取得によって「カタチ」になる喜びが実感できます。

●「安心」な進路選択
大学をはじめ様々な分野の姉妹校9校へ優先的に進学でき、就職も多くの求人数があり万全です。

主な授業内容・時間数

建築科　木材の加工実習や建築模型制作から、建築の基本を学びます。さらに建築士やインテリアデザイナーを目指し、設計製図やCAD・インテリアの学習にも力を入れています。
※普通科目（国語表現、数学Ⅰ、体育、美術Ⅰなど）47時間、専門科目（実習、製図、測量、建築施工など）40時間、HR3時間

機械科　金属加工の基礎から始め、実社会でも使われるコンピュータを用いた機械加工やCADの基本を学びます。また、エンジンの分解・組立の実習を通し、機械の仕組み等を学習します。
※普通科目45時間、専門科目（実習、製図、課題研究、原動機など）42時間、HR3時間

沿革概要

昭和36年　東海製図技術学校として、現在地に開校。
昭和50年　東海工業専門学校と改称。
昭和60年　高等課程機械科を設置。
昭和61年　高等課程設備科を設置。
平成７年　専門課程が東海工業専門学校金山校に移転。
　　高等課程は東海工業専門学校熱田校に改称。
平成17年　建築科を設置（設備科募集停止）
平成23年　建築科男女共学となる。
平成24年　機械科男女共学となる。

特別活動

学校行事
体育祭や文化祭をはじめ、オリエンテーション、社会研修、修学旅行など、1年間を通して盛り沢山の行事があります。特に工事業体験フェアといった本校ならではの行事もあります。ボランティア活動も青少年赤十字に加盟しており、生徒会主体で、献血、地域清掃、市町村主催イベントの補助員として協力するなど盛んです。

部活動
体育系はバスケットボール部など8部、文化系はeスポーツ部など5部が活発に活動しています。

建設専門工事業合同体験フェア

昨年度途中から機材が揃い、そこから本格的に活動を開始しています。今年度は大会へ参加し、上位入賞を目指しています。

eスポーツ部

進路状況

●主な進学先（電波学園内の大学・専門学校への進学にあたっては、入学金の減免制度があります。）
愛知工科大学、愛知工科大学自動車短期大学、名古屋工学院専門学校、東海工業専門学校金山校　他

●主な就職先（過去の実績）
㈱エディオン、大阪富士工業㈱、㈱キューソーエルプラン、西濃運輸㈱、東海マツダ販売㈱、トピー工業㈱、日鉄テックスエンジ㈱、三菱自動車工業㈱など

※学校紹介における就職決定率は、過去12年間100%を達成しています。

取得資格

●専修学校高等課程　卒業資格
●高等学校（名古屋たちばな高等学校）卒業資格（技能連携校）
●大学入学資格付与指定校
・建築科は卒業すると、2級建築士の受験資格が得られます。
・愛知県の登録教習機関（第1187号）であり、アーク溶接、ガス溶接の講習会の修了証が発行されます。
・3級機械加工技能士　・危険物取扱者
・小型車両系建設機械　・フォークリフト運転特別教育
・初級CAD検定　・建築積算士補などの資格を取得。

学費等

■専修学校分（初年度・年額）

検定料	入学金	授業料	施設維持費等
15,000円	180,000円	372,000円	—
施設協力金、教育充実費等	修学旅行積立金	実習材料費	生徒会費 教育活動費
40,000円	64,000円	9,300円	31,000円

■高等学校分（初年度・年額）

検定料	入学金	授業料	その他
6,000円	20,000円	48,000円	—

（2024年度参考）

◆案内図

所在地：〒456-0033
名古屋市熱田区花表町19-14
電　話：(052) 871-8621
ＦＡＸ：(052) 872-6296
最寄駅：名鉄名古屋本線「神宮前駅」東口より徒歩5分
JR東海道本線「熱田駅」より徒歩10分
地下鉄名城線「熱田神宮伝馬町駅」より徒歩8分
創立者：水野 恒治
創立年月日：昭和36年4月
理事長：小川 明治
校　長：水谷 隆之
https://tpchs.denpa.jp/